

11/27

Wed

個人型 丑澤颯斗 (塩崎小学校)

共同研究者 岩田 靖
(信州大学 教授)

すべての子どもたちが夢中になって、 心ゆくまで運動に親しむ体育学習

一人一人が自分の判断に自信をもつために

クラスの子どもたちは、男女分け隔てなくかかわり、友だちと協力して物事に取り組むことができます。一方で、周りの意見に流されてしまい自分の考えに自信をもって判断したり、行動したりすることが苦手な子どもが見られます。

6月には「キャッチセット・アタックプレルボール」を行いました。レシーブ・セット・アタックそれぞれの場面で、自分の判断に迷ったり型にはまった動きしかできなかったりすることがありました。共同研究者の岩田先生からは、これらの場面でボール運動の状況に応じた課題認識や自分と仲間の実態認識、どうすればできるようになるかの方法認識が大切であると教えていただきました。

そこで、自分の意見を伝えたり、友だちの話を聞いたりして課題を話し合いながら、チームの友だちと試行錯誤していくことを通して、自分の判断に自信をもち、より意欲的になり夢中になって運動に取り組むことができると考えました。目指したいプレイを全体で共通のものにして、そのプレイをするためにチームで話し合い、共有したことがゲームでうまくいったときに、仲間と喜び合ってほしいと願います。

この「キャッチセット・アタックプレルボール」の単元に入るにあたり、本校職員や共同研究者の岩田先生の研究室や長野上水内体育同好会の先生方と教材の体験をして学びました。実際に動いてみることで、教材のおもしろさや魅力を感じると同時に子どもたちがどんなところに難しさや、困り感を抱くのかを考えることができました。また、本時で扱う「ラダーコートサッカー」も事前に職員研修で体験し、子どもたちの思いに寄り添えるように努めています。

体育に夢中になって取り組み、一人一人が自分の判断に自信をもつことができるような授業づくりを進め、心ゆくまで運動に親しむことができる体育学習になるよう、研究を進めていきます。



共同研究者 岩田先生から

ゴール型のゲームは、味方・相手・ゴールの状況によってプレイの判断をしていく運動である。スライドボールを用いたラダーコートサッカーによって技能を易しくしながら、クラスのみinnでパスやシュートのチャンスの判断の面白さを存分に探究してほしい。



～日程～

- | | |
|---------|-------------|
| ① 受付 | 13:00 |
| ② 開会式 | 13:10～13:25 |
| ③ 公開授業 | 13:45～14:30 |
| ④ 授業研究会 | 14:40～15:40 |
| ⑤ 講演会 | 15:40～16:20 |
| ⑥ 閉会式 | 16:25～16:35 |